

平城遷都1300年祭

平城遷都1300年祭の
主会場となる平城宮跡（奈良市）近くで復元が進む遣



屋形の取り付け作業が
進む遣唐使船（奈良市
の平城宮跡近くで）

唐使船で、船体の甲板上に
客室となる屋形の設置作業
が行われた。

屋形3棟のうち、大使や
副使が使ったとされる船尾
側（幅2・4呎、長さ2・
2呎、高さ3・5呎）と、
炊事場と考えられる船体中
央部（幅3呎、長さ2・1
呎、高さ2・24呎）の2棟
がクレーンで甲板上に下ろ
された。留学生や僧侶らの
客室とみられる船首側の棟
（幅2・8呎、長さ3・4
呎、高さ2・6呎）は今後、
甲板上で組み立てられ、今
月中旬に完成する。

原寸大（縦30呎、最大幅
9・6呎、高さ15呎）に復
元される遣唐使船は作業の
7／8割が終了。今月から
マストの設置や船体の塗装
などが始まり、3月中旬に
完成し、4月24日から始ま
るイベントで乗船体験など
ができる。